

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

PowerAct Pro Ver4.x  
(コンソールモード)  
設定ガイド

オムロン株式会社  
電子機器事業本部

<b>OMRON</b>	<b>PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド</b>	
	コンソールモード	Rev B

## 【目次】

1. はじめに.....	3
2. POWERACT PRO モニタの表示 .....	3
3. 環境設定について.....	6
4. スケジュール運転の設定 .....	18
5. ログデータの確認.....	26
6. UPS の設定 .....	33

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

**1. はじめに**

本設定ガイドは、オムロン無停電電源装置(UPS)用の電源管理ソフト“PowerAct Pro”の設定内容をコンソールモードにて変更を行う場合の操作方法について記載されています。

“PowerAct Pro”のインストール方法、および GUI を使用しての設定方法については、別冊子の PowerAct Pro インストールガイド(マスターエージェント/スレーブエージェント)を参照ください。

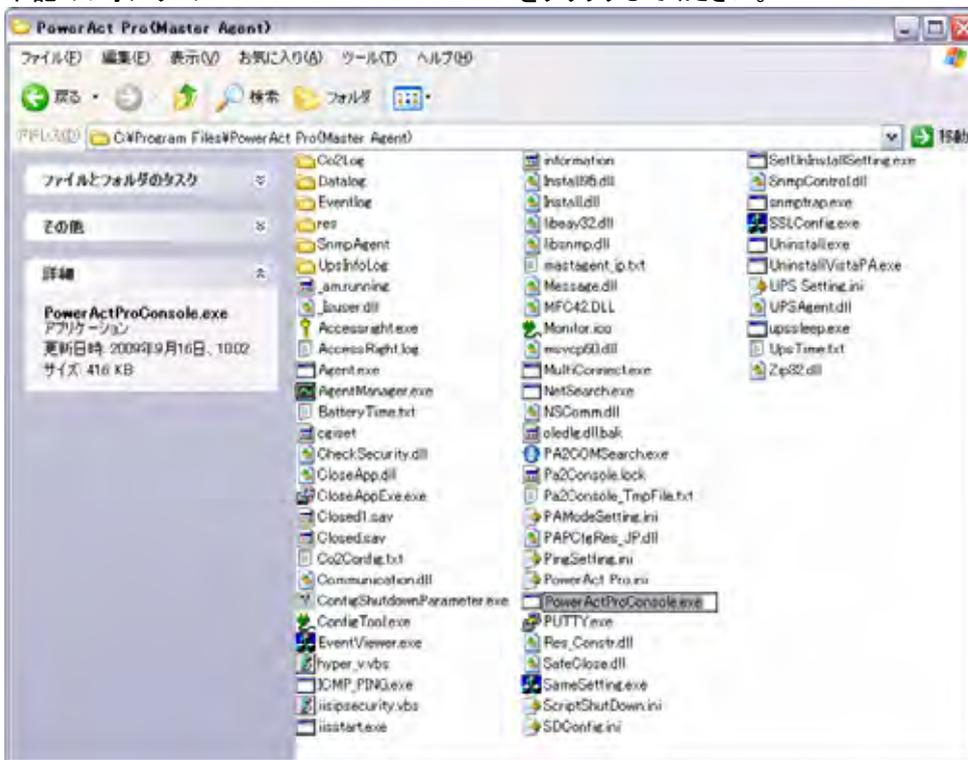
**2. PowerAct Pro モニタの表示**

- PowerAct Pro モニタをコンソールモードで表示する場合は、次の操作を行ってください。
- 下記の実行ファイルを起動してください。

C:\Program Files\PowerAct Pro(Master Agent) \PowerActProConsole.exe

<自 PC へのアクセスの場合>

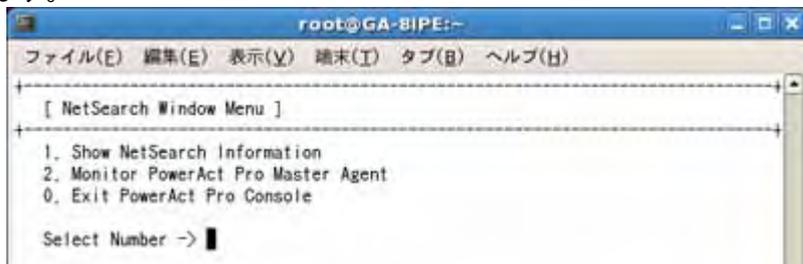
下記のフォルダの“PowerActProConsole.exe”をクリックしてください。



<他 PC からのアクセスの場合>

他 PC から PowerActPro がインストールされた PC に対し、Telnet や SSH などのターミナルソフトを使用してリモートログインします。(SSH 対応のターミナルソフトをご使用されることを推奨します。)

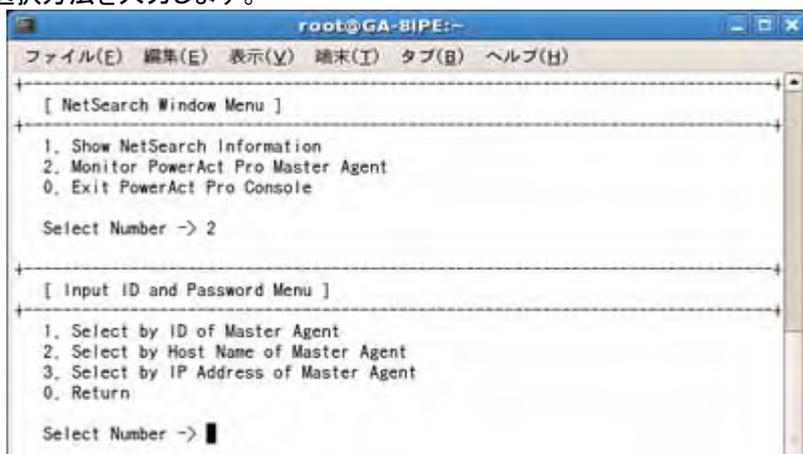
3. 表示された下記のメニューで 2 を選択してください。PowerAct Pro Console が起動し、Netsearch Window Menu が表示されます。「1」を選択し、ネットワーク上のエージェントを検索し、モニタするエージェントの ID などの情報を確認します。



[ネット検索ウィンドウメニュー]

1. ネット検索情報の表示
2. PowerAct Pro マスターエージェントのモニタ
0. PowerAct Pro Console の終了

4. Netsearch Window Menu で「2」を選択し、表示される[Input ID and Passwd Menu]でモニタするマスターエージェントの選択方法を入力します。



[ID とパスワードの入力メニュー]

1. マスターエージェント ID で選択
2. マスターエージェントのホスト名で選択
3. マスターエージェントの IP アドレスで選択
0. 戻る

※「IP アドレスで選択」する場合は、自 PC へのアクセスの場合は「127.0.0.1」、他 PC からリモートアクセスする場合は、「アクセスする PC の IP アドレス」を入力してください。

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

5. [Input ID and Passwd Menu]で選択した情報を入力すると、[User Login Window]でアクセス ID とパスワードの入力を求められます。管理者でログインする場合は「1. Login ID:」で「Admin」と入力してください。

```

root@GA-8IPE:~
ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) 終了(I) タブ(B) ヘルプ(H)
-----
1. Show NetSearch Information
2. Monitor PowerAct Pro Master Agent
0. Exit PowerAct Pro Console

Select Number -> 2

[ Input ID and Password Menu ]
-----
1. Select by ID of Master Agent
2. Select by Host Name of Master Agent
3. Select by IP Address of Master Agent
0. Return

Select Number -> 3

IP address of PowerAct Pro master agent:127.0.0.1

[ User Login Window ]
-----
1. Login ID:Admin
2. Password:*****

```

※IDとパスワードの入力に3回以上失敗すると、[Netsearch Window Menu]が表示されます。最初から操作しなおしてください。

下図のような PowerAct Pro モニタのメイン画面が表示されます。

```

root@GA-8IPE:~
ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) 終了(I) タブ(B) ヘルプ(H)
-----
[PowerAct Pro Monitor (GA-8IPE/ Full Access)]
[Date And Time]: 2009-03-14 17:47:07
[Battery Use Date]: 2009-03-10 [Next Battery Replace Date]: 2010-03-10
-----[UPS Setting]-----
UPS Model: BU100RW Buzzer Status: Off
UPS Status: On Line Function Test Status: On
Output A: Output Start Battery Auto Test: On
Output B: Output Stop UPS cold start status: On
Output C: Output Stop Input Sensitivity: 100V/Standard
Battery Status: Normal UPS Auto Reboot: On
Additional Battery Unit: 0 Presumed Backup Time: 80
-----[UPS Data]-----
Input Voltage: 100.8V Input Frequency: 49.9Hz
Output Voltage: 99.6V Output Frequency: 49.9Hz
Load Level: 22% Battery Capacity: 100%
Communication Port: COM1 Test Result:
-----[Next Shutdown Start / Next UPS Restart]-----
Next Shutdown Start: Next UPS Restart:
-----[Last Two Events]-----
2009-03-14 17:36:51 "Battery change date" is updated [GA-8IPE (Master) 2009/0...
2009-03-14 17:34:22 Communication Establish [UPS (Model:BU100RW / Communicati...
-----
Key "R" To Refresh UPS Data, Key "A" To AutoLoad UPS Data / 10 Seconds
Key "Q" To Quit The Monitor, Key "C" To Change The Current UPS Monitor

```

### 3. 環境設定について

#### 【シャットダウンパラメータ】

1. PowerAct Pro モニタのメイン画面を表示します。(1.PowerAct Pro モニタの表示(P3)参照)
2. [Q]キーを押すと、モニタ画面が終了し、[PowerAct Pro Monitor (\*\*\*) Main Menu(PowerAct Pro モニタメインメニュー)]が表示されます。
3. [1.System Configuration(システム設定)]->[1.Configuration(環境設定)]->[1.Shutdown Parameter(シャットダウンパラメータ)]の順に選択します。[Shutdown Parameter menu]画面が表示されます。



#### 【シャットダウンパラメータメニュー】

1. エージェント選択
2. 冗長電源の設定
3. その他のデバイス
4. Wake On LAN 設定
5. 出力コンセント情報
6. スクリプトシャットダウン
7. シャットダウンパラメータ
0. 戻る

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

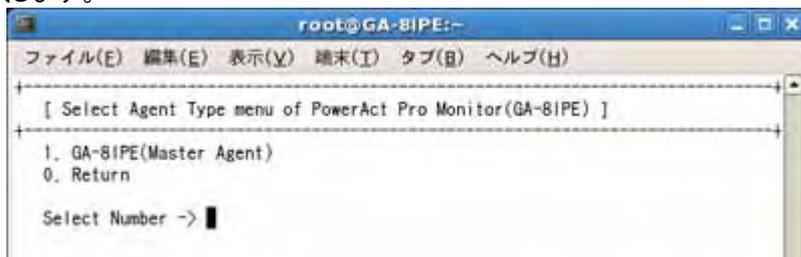
Rev B

**■エージェント選択**

マスターエージェント/スレーブエージェントのシャットダウン動作に関する設定を変更することができます。

**※マスター/スレーブエージェントすべてのコンピュータのシャットダウン設定を変更できます。**

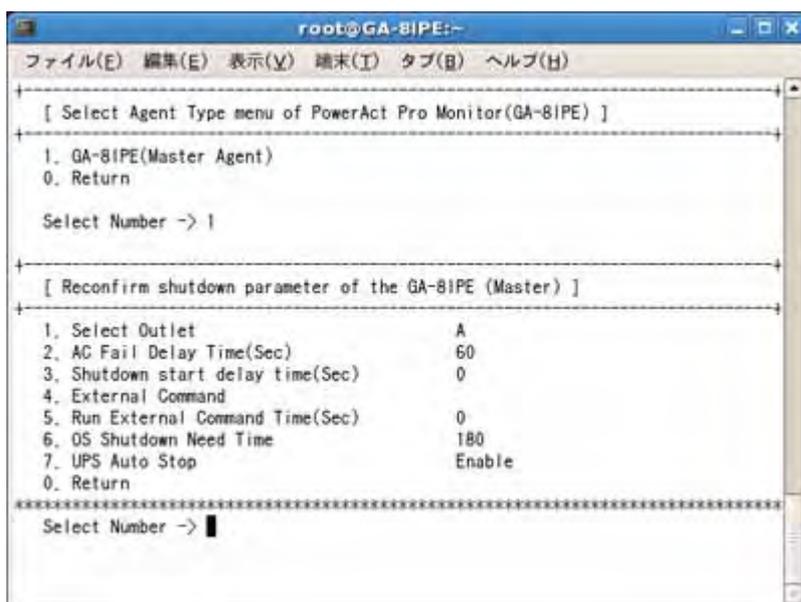
4. [1.Select One Agent(エージェント選択)]を選択すると表示される下記の画面で、パラメータを設定するエージェントを選択します。



[PowerAct Pro モニタのエージェントタイプを選択]

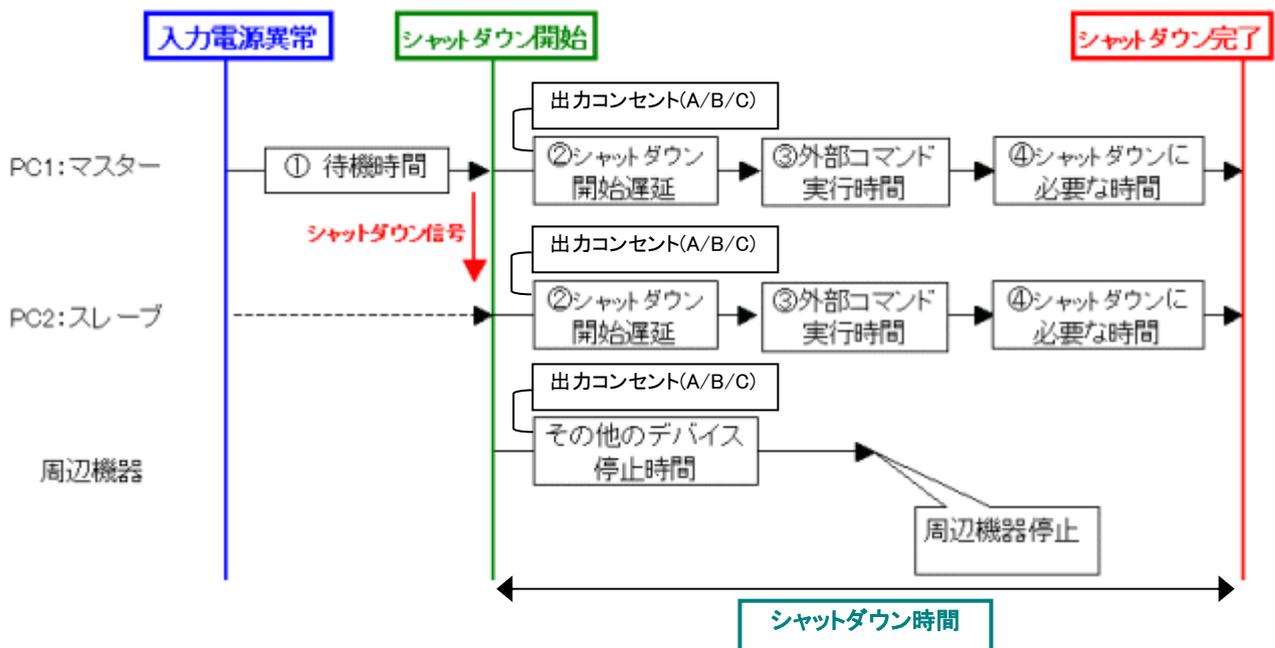
1. [コンピュータ名](Master Agent)
0. 戻る

5. [Reconfirm Shutdown Parameter(シャットダウンパラメータ確認)]画面が表示されます。メニュー項目の番号を入力して、各項目の値を入力します。値を入力すると、下記の画面に変更後の値が表示されます。



<b>OMRON</b>	<b>PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド</b>	
	コンソールモード	Rev B

項目	設定内容と方法
1. Select Outlet (UPS 出力コンセント選択)	接続している負荷をどの出力コンセントに接続するか選択します。出力コンセントは、制御できるコンセントとできないコンセントがあります。 <b>※出力コンセント制御をサポートしていない UPS をご使用する場合は、この機能は使用できません。</b>
2. AC Fail Delay Time(Sec) (待機時間)	電源異常が発生してからシャットダウン動作を開始するまでの待機時間を秒単位で設定します。 0~36000 秒の範囲で選択できます。(デフォルトは 60 秒。0~60 秒までは 10 秒間隔、60~36000 秒までは 60 秒間隔)
3. Shutdown start delay time(Sec) (シャットダウン開始遅延)	複数台のコンピュータがある場合、他のコンピュータとシャットダウン開始のタイミングを遅らせたい場合に設定します。 60 秒間隔で 0~600 秒の範囲で選択できます。(デフォルトは 0 秒)
4. External Command (外部コマンドライン)	シャットダウン動作が開始されると同時に起動されるプログラムのコマンド名を入力します。例えば、バックアップデータを特定のディスクに保存するなどのプログラムが考えられます。
5. Run External Command Time(Sec) (外部コマンド実行時間)	外部コマンドの実行に必要な時間を設定します。60 秒間隔で 0~600 秒の範囲で設定できます。 なお、この時間が経過するまでは、シャットダウン動作を一時停止します。(デフォルトは 0 秒)
6. OS Shutdown Needs Time (Sec) (シャットダウンに必要な時間)	OS のシャットダウンに必要な時間を設定します。 60 秒間隔で 0~1800 秒の範囲で選択できます。(デフォルトは 180 秒)
7. UPS Auto Stop (UPS 自動停止)	コンピュータのシャットダウンが完了した後、UPS を自動的に停止するかどうかを設定します。



6. [0 Return(戻る)]を選択すると、[Shutdown Parameter Menu]画面に戻ります。

### ■その他のデバイス

その他のデバイスに関するシャットダウン設定を変更することができます。

7. [3.Other Device(その他のデバイス)]を選択してください。

※出力コンセント制御機能のない無停電電源装置(UPS)では、この項目を選択できません。



[その他のデバイスの設定]

1. その他のデバイス停止時間
2. 入力電源異常時の最大バックアップ時間

項目	設定内容と方法
1.Turn Off Time of Other Device (その他のデバイス停止時間)	各コンセントの[その他のデバイス停止時間]を 30~600 秒の範囲で入力欄右側の矢印をクリックすると表示されるリストから選択して設定します。 ※出力コンセント制御機能のない UPS を接続している場合はコンセント B および C の設定はできません。
2.AC Fail Backup Time (入力電源異常時の最大バックアップ時間)	UPS の入力電源に異常が発生した時、最大で何分間バックアップ運転を行うか設定します。

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

8. [1.Turn Off Time of Other Device(その他のデバイス停止時間)]を選択してください。



[その他のデバイス停止時間]

1. 出力コンセント A(制御あり)
2. 出力コンセント B(制御あり)
3. 出力コンセント C(制御あり)

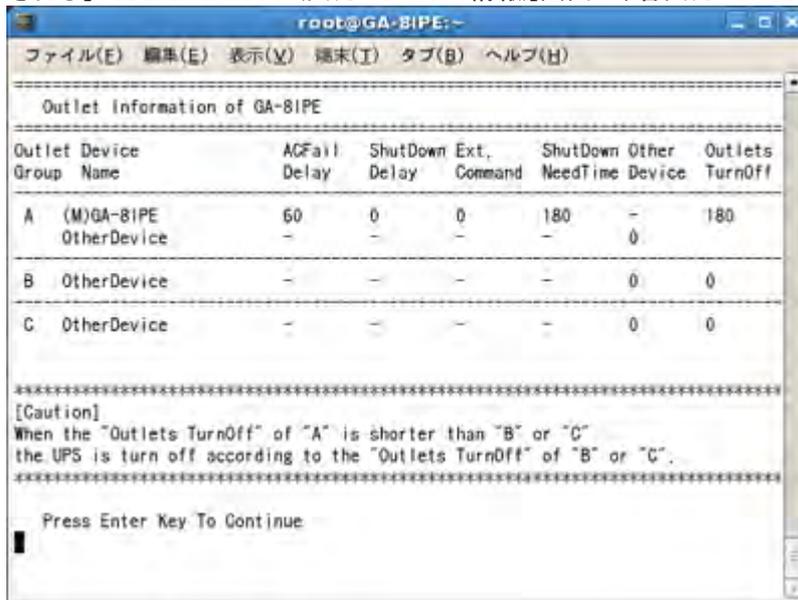
9. 設定を変更する出力コンセントを番号で選択し、各コンセントの「出力停止までの時間」を 60 秒間隔、0~600 秒の範囲で入力してください。

10. [0 Return(戻る)]を選択すると、[Shutdown Parameter Menu]画面に戻ります。

### ■ 出力コンセント情報

[出力コンセント情報]を表示させると、マスターエージェント・スレーブエージェント全てのシャットダウン設定を一覧で確認することができます。

- [5.Outlet Information(出力コンセント情報)]を選択してください。
- 表示される[Outlet Information(出力コンセント情報)]画面に、各出力コンセントの情報が一覧で表示されます。



#### [出力設定情報]

出力機器 グループ名	待機 時間	シャットダウン 開始遅延	外部コマンド 実行時間	シャットダウンに 必要な時間	その他の デバイス	出力 停止
A						
B				(省略)		
C						

#### [注意]

出力コンセント A の出力停止時間が、出力コンセント B または C よりも短い場合は、UPS の停止時間は出力コンセント B または C によって決まります。

続けるには、何かキーを押してください。

- 任意のキーを押すと、[Shutdown Parameter Menu]画面に戻ります。

### ■スクリプトシャットダウン

UPS に接続されている機器に対し LAN 経由でリモートログイン(Telnet/SSH V1/SSH V2)し、スクリプトコマンドを送信して、サーバ等をシャットダウンさせます。(サーバにシャットダウンソフトのインストールは必要ありません)

**※本機能を利用するには、サーバ側で「Telnet」もしくは「SSH」のサービスを有効にしておく必要があります。**

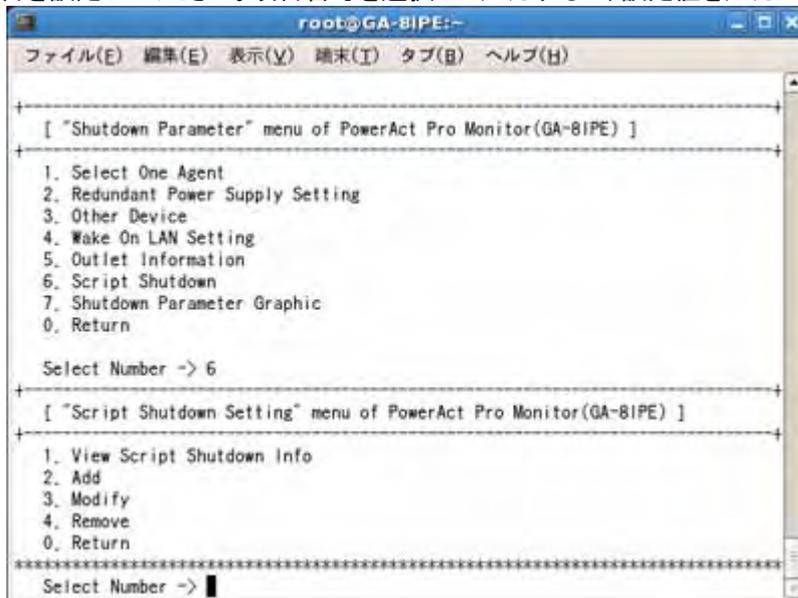
**※スクリプトシャットダウンでシャットダウンできない機器もありますので、必ず動作確認を行ってください。**

#### 【スクリプトコマンド例】

	Telnet	SSH V1/V2
Windows	shutdown -s -f	標準サポートなし
Linux (RHEL5)	/sbin/halt	/sbin/halt
Sun OS	/usr/sbin/halt	/usr/sbin/halt
Mac	/sbin/halt	/sbin/halt

14. [6.Script Shutdown(スクリプトシャットダウン)]を選択してください。

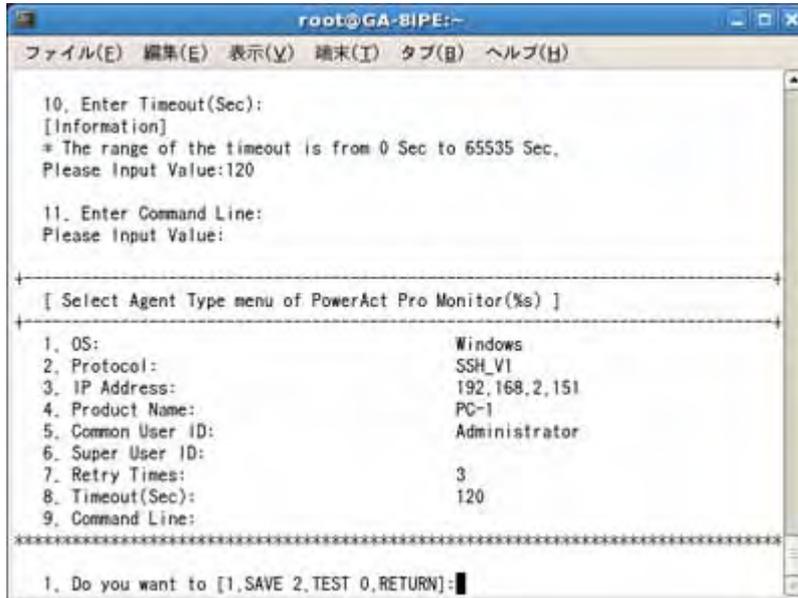
15. 表示される[Script Shutdown Setting Menu(スクリプトシャットダウン設定)]画面が表示されます。下表を参照して各項目を設定してください。項目番号を選択して入力すると、設定値を入力できます。



#### [出力設定情報]

1. スクリプトシャットダウン情報を見る
2. 追加
3. 修正
4. 削除

16. スクリプトシャットダウン実行先を追加するには、[2.Add(追加)]を選択します。下記の項目を設定してください。



項目	設定内容と方法
OS	スクリプトシャットダウンを実行したい機器の OS を選択します。
Protocol (プロトコル)	リモートログインに使用するプロトコルを選択します。 対応プロトコル: Telnet、SSH V1、SSH V2
IP Address (IP アドレス)	スクリプトシャットダウンを実行したい機器の IP アドレスを入力します。
Product Name (接続機器名)	スクリプトシャットダウンを実行したい機器の名称を設定します。
Common User ID (一般ユーザ ID)	スクリプトシャットダウンを実行したい機器のログインに有効な一般ユーザ名・パスワードを指定します。管理者権限(root 権限)のユーザ ID を設定してください。もし管理者権限でリモートログインできない場合は[一般ユーザ ID]の欄に一般ユーザ権限のユーザ ID を設定し、合わせて次項の[管理者ユーザ ID]に管理者権限のユーザ ID を設定してください。
Super User ID (管理者ユーザ ID)	上記の一般ユーザ ID が管理者権限でない場合、管理者権限のあるユーザ ID・パスワードを指定します。一般ユーザ ID が管理者権限である場合は設定不要です。
Retry Times (リトライ回数)	ログインに失敗した際の再試行の回数を選択します。
Time Out(Sec) (タイムアウト(秒))	ログインの際のタイムアウト時間を設定します。30 秒以上を目安に設定してください。短いとログインに失敗することがあります。
Command Line (コマンドライン)	マスターエージェントがシャットダウン動作を開始した際に実行するコマンドラインを指定します。コマンドの詳細は前頁の表を参照ください。

17. 設定が完了したら、[1.SAVE(保存)]を選択して、設定を確定させてください。[2.TEST(試験)]を選択すると、設定した内容でスクリプトシャットダウンのテストを行う事もできます。[0.RETURN(戻る)]を選択すると、[Script Shutdown Setting Menu]画面に戻ります。

18. [0 Return(戻る)]を選択すると、[Shutdown Parameter Menu]画面に戻ります。

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

**【UPS起動／再起動】****■UPS再起動設定**

UPSの再起動に関する設定を行えます。

1. PowerAct Pro モニタのメイン画面を表示します。(1.PowerAct Pro モニタの表示(P3)参照)
2. [Q]キーを押すと、モニタ画面が終了し、[PowerAct Pro Monitor (\*\*\*) Main Menu(PowerAct Pro モニタメインメニュー)]が表示されます。
3. [1.System(システム)->[1.Configuration(環境設定)]->[2.UPS boot/reboot(UPS 起動/再起動)]の順に選択します。
4. [UPS boot/reboot]画面が表示されます。

**[UPS 起動/再起動メニュー]**

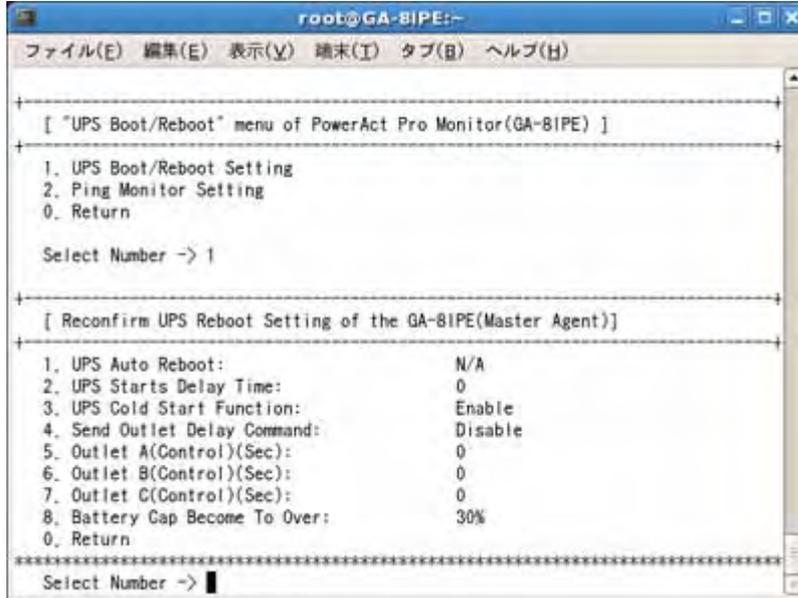
1. UPS 起動/再起動設定
  2. Ping モニタ設定
  0. 戻る
5. [1.UPS Boot/Reboot Setting(UPS 起動/再起動設定)]を選択します。

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

6. [UPS boot/reboot Setting(UPS 起動/再起動設定)]画面が表示されます。メニュー項目の番号を入力して、各項目の値を入力します。値を入力すると、下記の画面に変更後の値が表示されます。



項目	設定内容と方法
1.UPS Auto Reboot (UPS 自動再起動)	電源異常が回復した後で、UPS を再起動するかどうかを設定します。
2.UPS Starts Delay Time (UPS 起動遅延時間)	電源異常が回復した後で、UPS を再起動するまでの遅延時間を秒単位で設定します。
3.UPS Cold Start Function (UPS コールドスタート機能)	UPS コールドスタート機能を有効にするか設定します。コールドスタート有効に設定すると、UPS は電源入力がない環境でも起動させることができます。入力欄右側の矢印をクリックすると表示されるリストから選択して設定します。
4.Send Outlet Delay Command (出力開始遅延コマンド送信)	無停電電源装置(UPS)が起動するときに、出力コンセント別に出力を遅延させるかを設定します。
5.Outlet A(Control)(Sec) (出力コンセント A(制御あり)(秒))	UPS が起動するときに、出力コンセント別に出力遅延時間を秒単位で設定します。ただし、出力コンセント A については 0 秒固定です。 <b>※出力コンセント制御機能のない UPS を接続している場合は選択できません。</b>
6.Outlet B(Control)(Sec) (出力コンセント B(制御あり)(秒))	
7.Outlet C(Control)(Sec) (出力コンセント C(制御あり)(秒))	
8.Battery Cap become to over (バッテリー容量オーバー)	設定されたバッテリー容量に充電されるまで、UPS を起動させたくない場合に設定します。

7. [0.Return(戻る)]を選択すると、[UPS boot/reboot]画面に戻ります。

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

**【通信設定】****■通信設定**

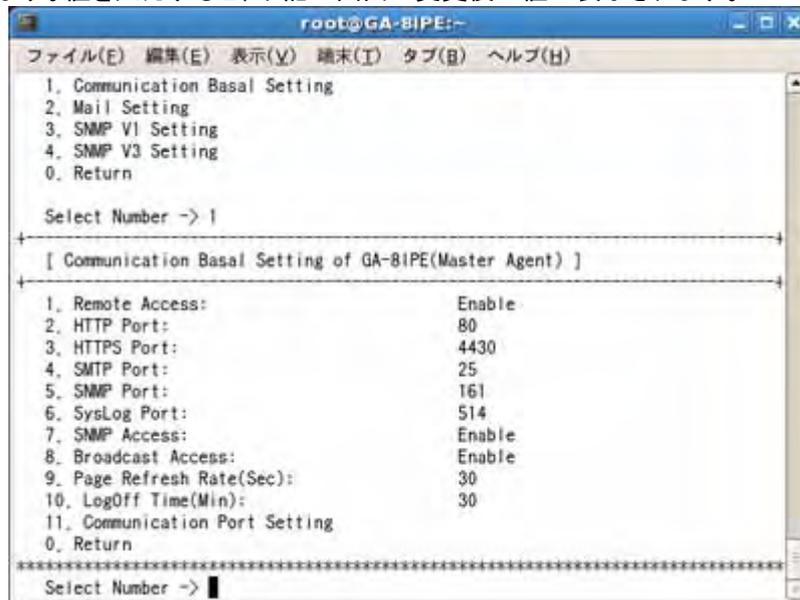
UPSの通信に関する設定を行えます。

1. PowerAct Pro モニタのメイン画面を表示します。(1.PowerAct Pro モニタの表示(P3)参照)
2. [Q]キーを押すと、モニタ画面が終了し、[PowerAct Pro Monitor (\*\*\*) Main Menu(PowerAct Pro モニタメインメニュー)]が表示されます。
3. [1.System(システム)]->[1.Configuration(環境設定)]->[4.Communication Setting(通信設定)]の順に選択します。
4. [Communication Setting Menu(通信設定メニュー)]画面が表示されます。

**[通信設定メニュー]**

1. 通信設定
  2. メール設定
  3. SNMP V1 設定
  4. SNMP V3 設定
  0. 戻る
5. [1.Communication Basal Setting(通信設定)]を選択します。

6. [Communication Basal Setting(通信設定)]画面が表示されます。メニュー項目の番号を入力して、各項目の値を入力します。値を入力すると、下記の画面に変更後の値が表示されます。



項目	設定内容と方法
1.Remote Access (リモートアクセスの許可/禁止)	[Disable]を選択するとリモート PC からの操作を禁止することができます。
2.HTTP Port(ネットワークポートアドレス) 3.HTTPS Port(ネットワークポートアドレス) 4.SMTP Port(ネットワークポートアドレス) 5.SNMP Port(ネットワークポートアドレス) 6.Syslog Port(ネットワークポートアドレス)	ご使用のネットワークの状況に合わせて、HTTP、HTTPS、SMTP、SNMP、Syslog ポートの各ポート番号を設定します。通常は、デフォルト値を使用します。もし他のサービスとポート番号が重複している場合は、別の番号を設定してください。 <b>※ポートアドレスを変更すると、PC 全体の設定が書き換わるため、他のアプリケーション等が正常に動作しなくなる恐れがあります。変更される場合は十分にご注意ください。</b>
7.SNMP Access (SNMP アクセス)	[SNMP]は SNMP 管理を行う場合に“Enable”に設定します。この場合、SNMP マネージャに対して、UPS 管理情報の送信を行います。
8.Broadcast Access (ブロードキャストアクセス)	[ブロードキャスト]は通常は“Enable”に設定してください。“Disable”に設定すると、PowerActPro はスレーブエージェントの連携シャットダウンを行うことができません。
9.Page Refresh Rate (ページ更新設定)	PowerAct Pro モニタの画面更新間隔を秒単位で設定します。
10.Logoff Time (ログオフ時間)	PowerAct Pro モニタの自動ログオフ時間を設定します。
11.Communication Port Setting (通信ポート設定)	通信ポートの設定を行います。 [1.Auto]を選択すると、コンピュータのすべての通信ポートが検索され、見つかった無停電電源(UPS)が通信ポート一覧に表示されます。 [2.Manual]を選択した場合は、続けて表示される一覧から通信ポートを選択します。

## 4. スケジュール運転の設定

### ■機能説明

日時を指定し、「UPS の停止／起動」や「UPS の自己診断テスト」などを行うことができます。日時の指定以外に、「毎週」「毎月」という指定もできます。これらを指定し UPS を使用することをスケジュール運転といいます。スケジュール運転を一覧表示し、個別に設定変更、削除を行うことができます。

**※スケジュール運転時に電源異常などが発生した場合は、現在のスケジュール運転はキャンセルされ、次のスケジュール運転の設定に従って動作します。**

**※スケジュール運転を設定した時刻に、PowerAct Pro のエージェントが停止状態になっていた場合、スケジュール運転は実施されません。スケジュール運転を設定した際は、エージェント停止の操作はしないでください。**

1. PowerAct Pro モニタのメイン画面を表示します。(1.PowerAct Pro モニタの表示(P3)参照)
2. [Q]キーを押すと、モニタ画面が終了し、[PowerAct Pro Monitor (\*\*\*) Main Menu(PowerAct Pro モニタメインメニュー)]が表示されます。
3. [1.System Configuration(システム設定)->[3.Schedule(スケジュール)]の順に選択します。[Schedule Action(スケジュール運転)]メニューが表示されます。設定したい項目番号を入力してください。



[スケジュール運転]

1. スケジュール運転リスト
2. スケジュールの追加
3. スケジュールの修正
4. スケジュールの削除
0. 戻る

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

**【1. Schedule Action List(スケジュール運転リスト)】**

スケジュール運転の状況を一覧表示できます。見終わったら[Enter]キーを押してください。



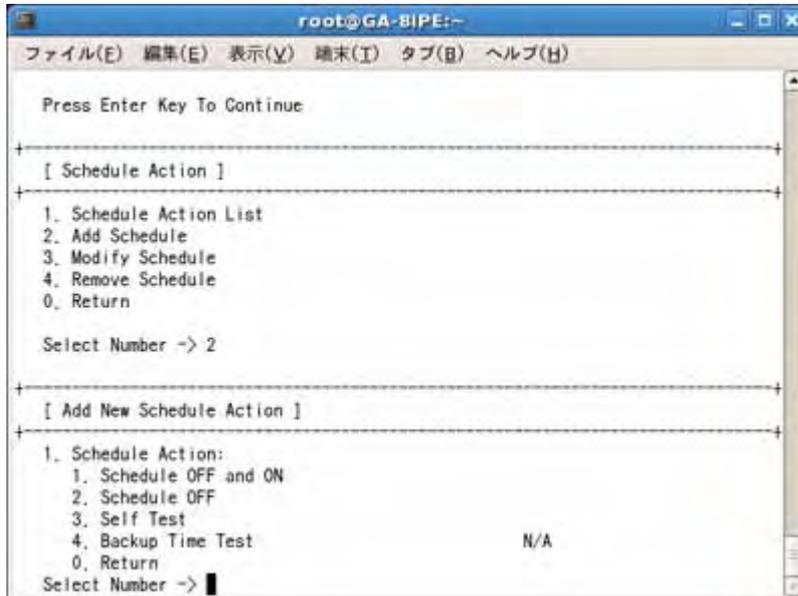
表示内容は以下のとおりです。

項目	設定内容と方法
Number(番号)	スケジュールの番号です。修正、削除の際に使用します。
Type(種類)	設定されているスケジュール運転の運転間隔が表示されます。「Special Day(指定日)」「Every Week(毎週)」「Every Month(毎月)」が表示されます。
Action(運転)	スケジュール運転の運転内容が表示されます。「Schedule Off Day/Schedule On Day(停止日/起動日)」、「Backup Time Test(バックアップ時間テスト)」、「Self Test(自己診断テスト)」のいずれかが表示されます。
OFF/Start(停止/実施日)	スケジュール運転の停止日や「Backup Time Test(バックアップ時間テスト)」または「Self Test(自己診断テスト)」のテスト実施日の日付が表示されます。
Time(時間)	停止日 / 実施日の時刻が表示されます。
ON/Stop(起動/終了日)	スケジュール運転の起動日や「Backup Time Test(バックアップ時間テスト)」または「Self Test(自己診断テスト)」のテスト終了日の日付が表示されます。
Time(時間)	起動日 / 終了日の時刻が表示されます。

## 【2. Add Schedule(スケジュールの追加)】

スケジュールを追加できます。以下の手順で項目毎に設定します。

1. スケジュール運転の種別を番号で入力します。



[新規スケジュール運転の追加]

1. スケジュール運転:
  1. 停止日/起動日
  2. 停止日
  3. 自己診断テスト
  4. バックアップ時間テスト
  0. 戻る

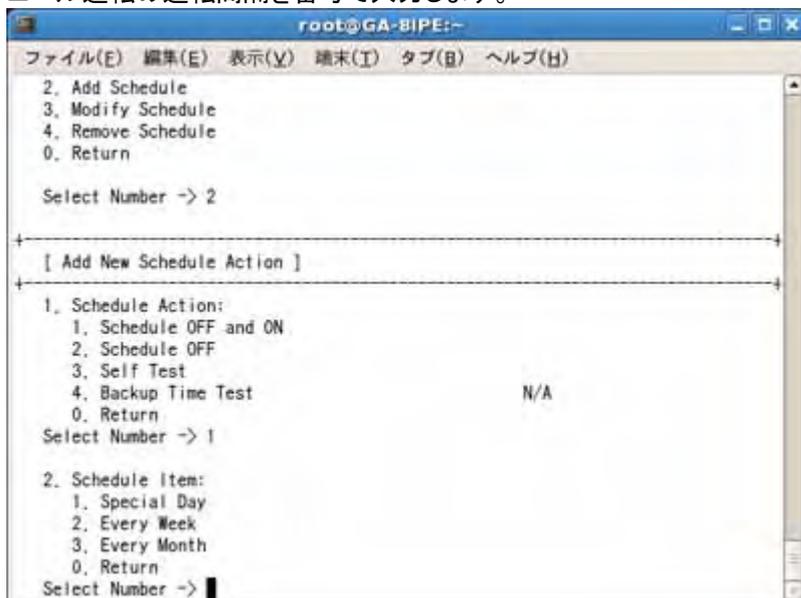
項目	設定内容と方法
Schedule OFF and ON (停止日/起動日)	スケジュール運転の停止日/起動日を設定することができます。
Schedule OFF(停止日)	スケジュール運転の停止日のみを設定することができます。
Self Test (自己診断テスト)	自己診断テストを実施します。
Backup Time Test (バックアップ時間テスト)	推定バックアップ時間を補正するためのテストを実施します。 <b>※「推定バックアップ時間表示機能」をサポートしている機種のみ有効です。            BN100XR/BN150XR/BN240XRのみサポートしています。</b>

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

## 2. スケジュール運転の運転間隔を番号で入力します。



## 2. スケジュール項目:

1. 指定日
2. 毎週
3. 毎月
0. 戻る

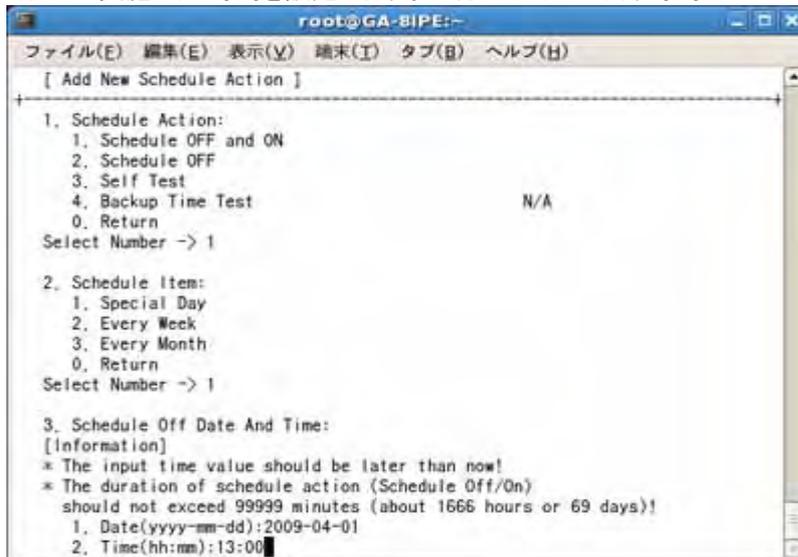
項目	設定内容と方法
Special Day(指定日)	指定日にスケジュール運転を実施します。
Weekly(毎週)	毎週設定されている曜日にスケジュール運転を実施します。
Monthly(毎月)	毎月設定されている日にスケジュール運転を実施します。

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

3. 停止日(または実施日)と時刻を設定します。日付はハイフン(-)、時刻はコロン(:)で区切って入力してください。



3. 停止日と時刻:

[情報]

\*入力される値は現時刻より後でなくてはなりません!

\*スケジュール運転(スケジュール Off/On)の間隔は 99999 分間(約 1666 時間、または 69 日間をこえてはなりません!)

1. 日付(yyyy-mm-dd):2009-04-01
2. 時刻(hh:mm):13:00

4. 起動日(または終了日)と時刻を設定します。日付はハイフン(-)、時刻はコロン(:)で区切って入力してください。

**※この項目はスケジュール運転の種別によって表示されない場合もあります。**



4. 起動日と時刻:

[情報]

\*入力される値は現時刻より後でなくてはなりません!

\*スケジュール運転(スケジュール Off/On)の間隔は 99999 分間(約 1666 時間、または 69 日間をこえてはなりません!)

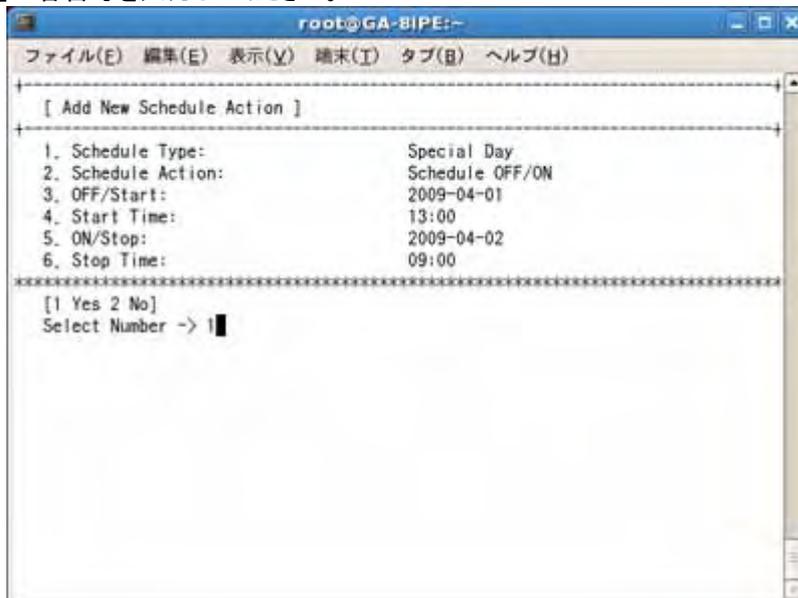
1. 日付(yyyy-mm-dd):2009-04-02
2. 時刻(hh:mm):09:00

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

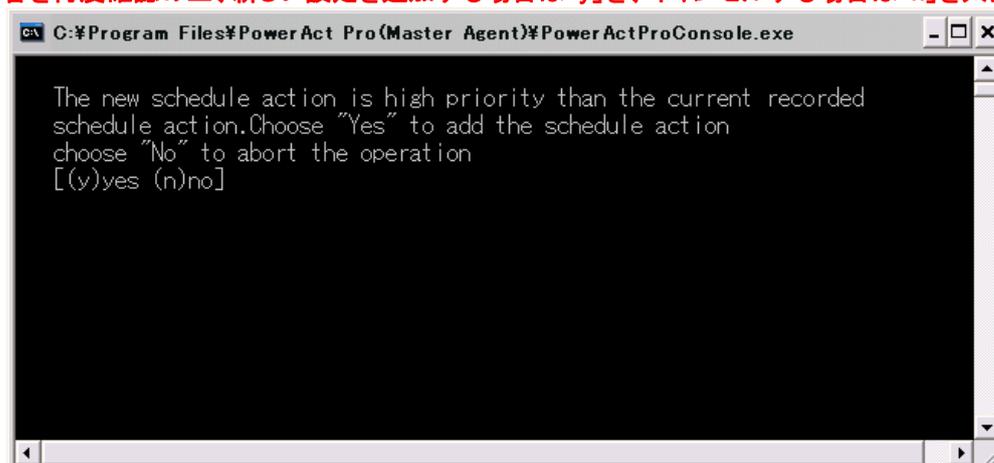
5. 設定内容の確認画面が表示されます。表示された設定内容を登録する場合は「1 Yes」、設定を中止する場合は「2 No」の各番号を入力してください。



[新規スケジュール運転の追加]

1. スケジュールの種別: 指定日
2. スケジュール運転: 停止日/起動日
3. 停止/実施日: 2009-04-01
4. 実施時刻: 13:00
5. 起動/終了日: 2009-04-02
6. 終了時刻: 09:00

※新しく登録したスケジュール内容が、既に登録されているスケジュールと重複する場合、下記のアラームが出ます。設定内容を再度確認の上、新しい設定を追加する場合は「y」を、キャンセルする場合は「n」を入力してください。



### 【3. Modify Schedule(スケジュールの修正)】

登録されているスケジュール運転の内容を修正します。以下の手順で操作してください。

1. 修正するスケジュール運転の番号を入力します。



[スケジュール運転の修正]

スケジュール番号の選択:

2. スケジュール運転の登録内容が表示されます。修正したい項目の番号を入力し、その値を入力してください。すべての修正が完了したら、「7. Effect Change And Return(変更内容を有効にして戻る)」を選択してください。変更内容を破棄する場合は「8. Discard Change And Return(変更内容を破棄して戻る)」を選択してください。



[スケジュール運転の修正]

1. スケジュールの種別: 指定日
  2. スケジュール運転: 停止日/起動日
  3. 停止/実施日: 2009-04-01
  4. 実施時刻: 13:00
  5. 起動/終了日: 2009-04-02
  6. 終了時刻: 09:00
  7. 変更内容を有効にして戻る
  8. 変更内容を破棄して戻る
- 番号を選択してください ->

#### 【4. Remove Schedule(スケジュールの削除)】

登録済みスケジュール運転を削除します。以下の手順で操作してください。

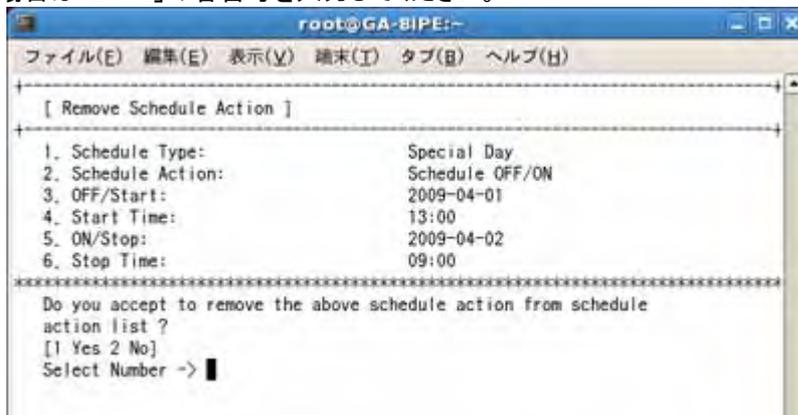
1. スケジュール運転の番号を選択します。



[スケジュール運転の削除]

1. スケジュール運転の番号を選択してください:

2. 削除するスケジュール運転の内容が表示されます。表示された設定内容を削除する場合は「1 Yes」、削除を中止する場合は「2 No」の各番号を入力してください。



[スケジュール運転の削除]

1. スケジュールの種別: 指定日
2. スケジュール運転: 停止(実施)/起動(終了)
3. 停止/実施日: 2009-04-01
4. 実施時刻: 13:00
5. 起動/終了日: 2004-04-02
6. 終了時刻: 09:00

上記のスケジュール運転をリストから削除してよろしいですか？

[1 削除 2 中止]

## 5. ログデータの確認

### ●Event Log(イベントログ)メニュー

無停電電源装置(UPS)で発生する動作状況(入力電源異常、スケジュールシャットダウン、環境設定、バッテリーテストなど)を記録することができます。以下の手順でイベントログを表示できます。

1. 番号でログを表示するエージェントを選択します。表示されるエージェント名は、各エージェントをインストールしたコンピュータ名が表示されます。



[エージェント選択]

1. [コンピュータ名](マスターエージェント)
  - 0.戻る
- 番号を選択してください ->

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

2. 以下のメニューでイベントログリストの表示、消去を行います。

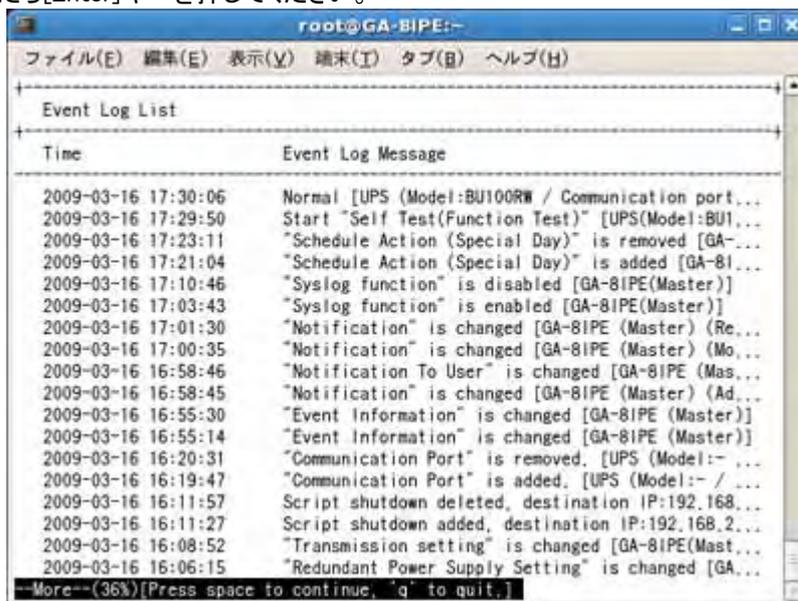


[訳]

1. イベントログリスト
  2. 消去
  3. リスト作成条件
  0. 戻る
- 番号を選択してください ->

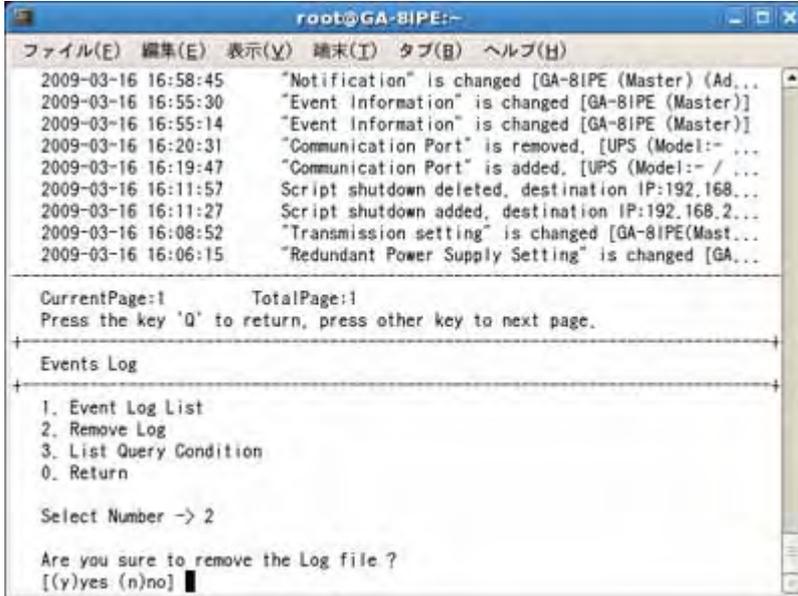
**【1.Event Log List(イベントログリスト)】**

見終わったら[Enter]キーを押してください。



## 【2. Remove(削除)】

イベントログを消去する場合に選択します。この項目を選択すると以下のようなメッセージが表示されます。「(y)yes(はい)」または「(n)no(いいえ)」を選択して y または n を入力してください。



```

root@GA-8IPE:~
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 終了(I) タブ(B) ヘルプ(H)
2009-03-16 16:58:45 "Notification" is changed [GA-8IPE (Master) (Ad...
2009-03-16 16:55:30 "Event Information" is changed [GA-8IPE (Master)]
2009-03-16 16:55:14 "Event Information" is changed [GA-8IPE (Master)]
2009-03-16 16:20:31 "Communication Port" is removed, [UPS (Model:- ...
2009-03-16 16:19:47 "Communication Port" is added, [UPS (Model:- / ...
2009-03-16 16:11:57 Script shutdown deleted, destination IP:192.168...
2009-03-16 16:11:27 Script shutdown added, destination IP:192.168.2...
2009-03-16 16:08:52 "Transmission setting" is changed [GA-8IPE(Mast...
2009-03-16 16:06:15 "Redundant Power Supply Setting" is changed [GA...

CurrentPage:1 TotalPage:1
Press the key 'Q' to return, press other key to next page.
-----
Events Log
-----
1. Event Log List
2. Remove Log
3. List Query Condition
0. Return

Select Number -> 2

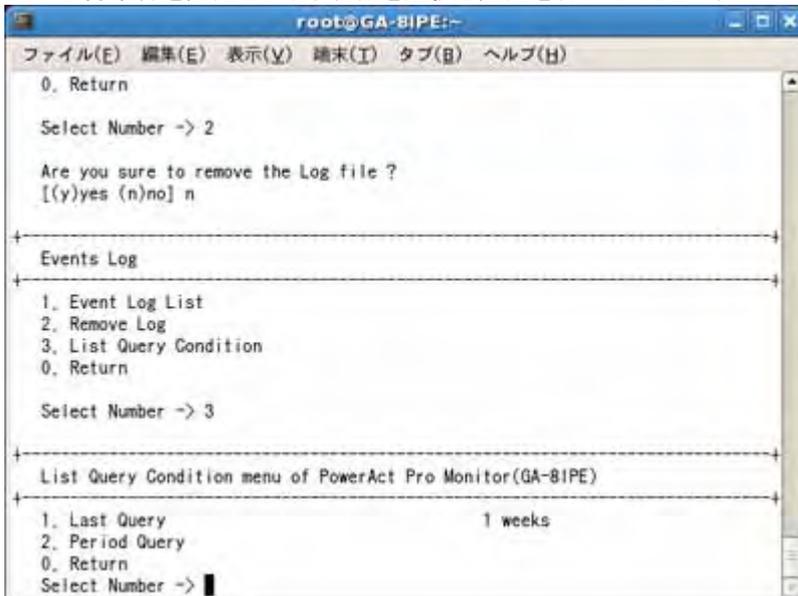
Are you sure to remove the Log file ?
[(y)yes (n)no] █

```

このログファイルを本当に消去してもよろしいですか？  
[(y)はい (n)いいえ]

## 【3. List Query Condition(リスト作成条件)】

イベントログの取得条件を設定します。項目を選択し設定を行ってください。



```

root@GA-8IPE:~
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 終了(I) タブ(B) ヘルプ(H)
0. Return

Select Number -> 2

Are you sure to remove the Log file ?
[(y)yes (n)no] n

-----
Events Log
-----
1. Event Log List
2. Remove Log
3. List Query Condition
0. Return

Select Number -> 3

-----
List Query Condition menu of PowerAct Pro Monitor(GA-8IPE)
-----
1. Last Query 1 weeks
2. Period Query
0. Return

Select Number -> █

```

[リスト作成条件]

1. 直近期間 1 週間
  2. 指定期間
  0. 戻る
- 番号を選択してください ->

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

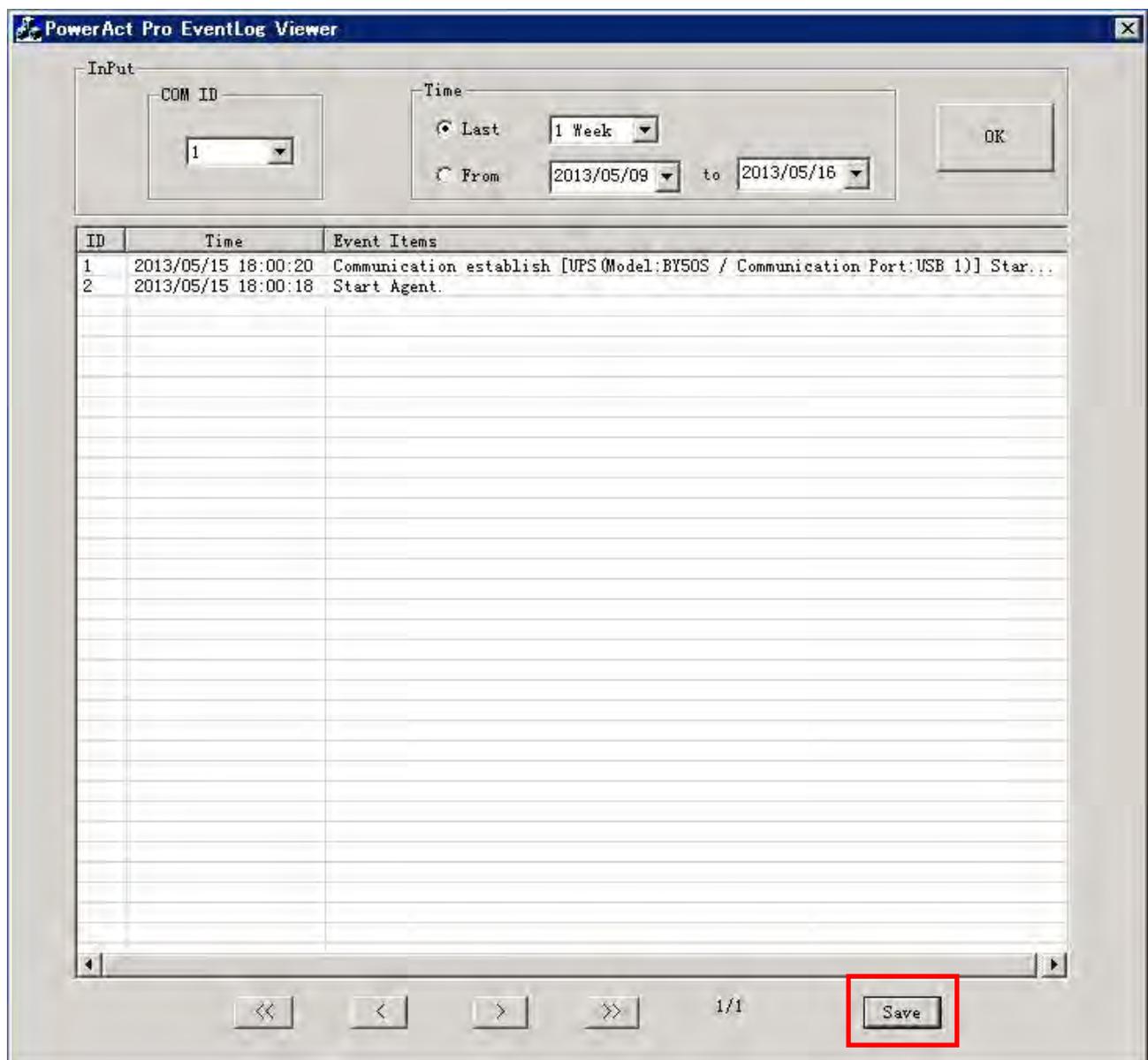
コンソールモード

Rev B

**※ご注意**

コンソールモードでは表示できる文字数が限られるため、長文のイベントログデータはすべて表示されない場合があります。その場合は以下の手順でイベントログデータを CSV ファイルとして保存後、エクセル等でファイルを開いて、データをご確認ください。

- 1.PowerAct Pro のインストールフォルダにある「EventViewer.exe」を実行すると、ツールが起動します。  
C:¥Program Files¥PowerAct Pro(Master Agent) ¥ PowerActProConsole.exe
2. [Time]欄でログを表示させる期間を設定したうえで[OK]ボタンをクリックすると、以下のようにイベントログが表示されます。
- 3.[Save]ボタンをクリックすると表示されているログデータが csv ファイルとして保存されます。



**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

**●Data Log(データログ)メニュー**

データログでは、時間・入力電圧・出力電圧・接続容量・入力周波数・無停電電源装置内部温度などのさまざまなデータを記録することができます。項目番号を選択して、データログの表示、消去を行います。



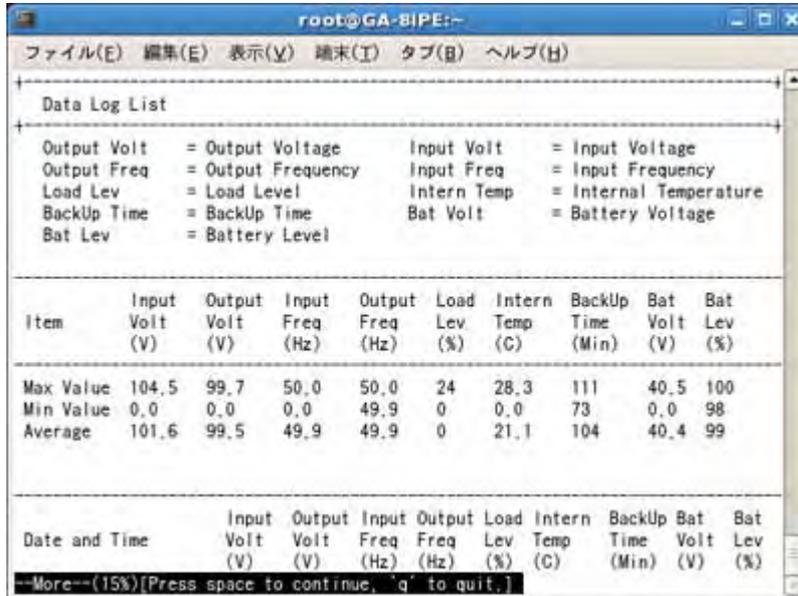
[データログ]

1. データログリスト
2. ログ作成条件
3. 削除
0. 戻る

番号を選択してください -&gt;

## 【1. Data Log List(データログリスト)】

下記のようなデータログリストが表示されます。1画面で表示しきれない部分は[Enter]キーまたはスペースキーを押すと表示されます。



```

root@GA-81PE:~
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 終了(E) タブ(B) ヘルプ(H)
-----
Data Log List
-----
Output Volt = Output Voltage      Input Volt = Input Voltage
Output Freq = Output Frequency    Input Freq = Input Frequency
Load Lev   = Load Level          Intern Temp = Internal Temperature
BackUp Time = BackUp Time        Bat Volt   = Battery Voltage
Bat Lev    = Battery Level

Item      Input  Output  Input  Output  Load  Intern  BackUp  Bat  Bat
          Volt   Volt    Freq   Freq    Lev    Temp    Time    Volt Lev
          (V)   (V)    (Hz)   (Hz)    (%)   (C)    (Min)  (V)  (%)
-----
Max Value 104.5  99.7   50.0   50.0   24    28.3   111    40.5 100
Min Value  0.0   0.0    0.0    49.9   0     0.0    73     0.0  98
Average   101.6  99.5   49.9   49.9   0     21.1   104    40.4  99

Date and Time      Input  Output  Input  Output  Load  Intern  BackUp  Bat  Bat
                   Volt   Volt    Freq   Freq    Lev    Temp    Time    Volt Lev
                   (V)   (V)    (Hz)   (Hz)    (%)   (C)    (Min)  (V)  (%)
--More--(15%)[Press space to continue, 'q' to quit.]

```

表示項目の内容は以下のとおりです。

項目名	説明
Input Volt(入力電圧)	商用コンセントから無停電電源装置(UPS)に供給されている入力電圧を表示します。
Output Volt(出力電圧)	無停電電源装置(UPS)から接続されている機器に対して供給している出力電圧を表示します。
Input Freq(入力周波数)	商用コンセントから無停電電源装置(UPS)に供給されている入力電源の周波数を表示します。
Output Freq(出力周波数)	無停電電源装置(UPS)から接続されている機器に対して供給している出力電圧の周波数を表示します。
Load Lev(接続容量)	無停電電源装置(UPS)に接続されている機器の負荷容量をパーセントで表示します。
Intern Temp (無停電電源装置内部温度)	無停電電源装置(UPS)内部の温度です。
BackUp Time (バックアップ時間)	推定バックアップ時間を表示します。
Bat Volt(バッテリー電圧)	バッテリー電圧レベルです。
Bat Lev(バッテリー容量)	内蔵バッテリーの充電状態を表示します。

### 【2. Log Query Condition(ログ作成条件)】

データログの取得条件を設定します。項目を選択し設定を行ってください。



[データログ]

1. 直近期間 1 週間
2. 指定期間
0. 戻る

番号を選択してください ->

### 【3. Remove(削除)】

データログを消去する場合に選択します。この項目を選択すると以下のようなメッセージが表示されます。「(y)yes(はい)」または「(n)no(いいえ)」を選択して y または n を入力してください。



このログファイルを本当に消去してもよろしいですか？

[(y)はい (n)いいえ]

## 6. UPS の設定

### ●UPS Setting (UPS 設定)メニュー

各項目の番号を選択入力して、ブザー、バッテリー自動テスト、入出力設定、バッテリー交換日の設定を行うことができます。各項目の現在の設定値が表示されています。



1. ブザー: On
2. バッテリー自動テスト: On
3. 入出力設定 100V/標準
4. バッテリー交換日 2004-07-09
0. 戻る

#### 【1. Buzzer(ブザー)】

バックアップ運転中に無停電電源装置(UPS)のブザーをならすかならさないか設定できます。バックアップ中にブザーをならしたくない場合は、「Off(ならさない)」にしてください。バックアップ中にブザーをならしたい場合は、「On(ならす)」にしてください。

##### ※注意事項

無停電電源装置(UPS)の「設定スイッチ」で本設定をする機種は、コンソールモードからの設定はできません。

#### 【2. Battery Auto Test:(バッテリー自動テスト)】

自動的にバッテリー自動テストを実施する/しないを選択できます。「On(する)」を選択すると、無停電電源装置(UPS)は、4週間間隔で自動的にバッテリー診断を行います。

##### ※注意事項

無停電電源装置(UPS)の「設定スイッチ」で本設定をする機種は、コンソールモードからの設定はできません。

**OMRON****PowerAct Pro Ver 4.x 設定ガイド**

コンソールモード

Rev B

**【3. Input / Output Setting(入力電圧感度／出力電圧設定)】**

無停電電源装置(UPS)の出力電圧を選択できます。詳細は、下記の表を参照してください。

**※注意事項**

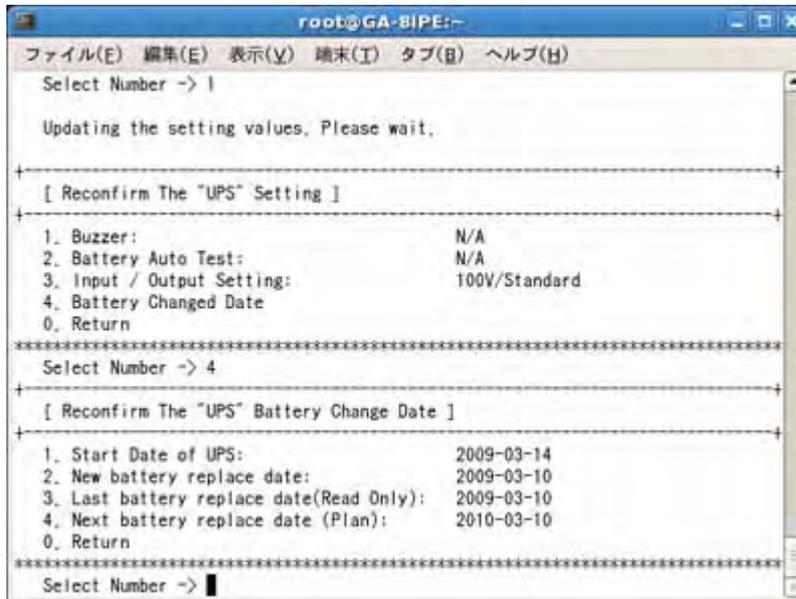
無停電電源装置(UPS)の機種によって、本機能を使用できない場合があります。本機能を使用できない場合は、出力電圧 100V で停電検出電圧感度は、標準電圧感度固定となります。



設定項目	説明
100V／高感度 (100V/High)	出力電圧は AC100V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、高感度です。
100V／標準感度 (100V/Standard)	出力電圧は AC100V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、標準感度です。
100V／低感度 (100V/Low)	出力電圧は AC100V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、標準感度より、低い値の設定です。頻繁にバックアップモードに入る時に、選択してください。
110V／標準感度 (110V/Standard)	出力電圧は AC110V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、標準感度です。
115V／標準感度 (115V/Standard)	出力電圧は AC115V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、標準感度です。
115V／低感度 (115V/Low)	出力電圧は AC115V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、標準感度より低い値の設定です。頻繁にバックアップモードに入る時に、選択してください。
120V／標準感度 (120V/Standard)	出力電圧は AC120V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、標準感度です。
200V／標準感度 (200V/Standard)	出力電圧は AC200V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、標準感度です。
220V／標準感度 (220V/Standard)	出力電圧は AC220V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、標準感度です。
230V／標準感度 (230V/Standard)	出力電圧は AC230V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、標準感度です。
240V／標準感度 (240V/Standard)	出力電圧は AC240V です。 入力電圧感度(停電検出電圧感度)は、標準感度です。

#### 【4. Battery Changed Date:(バッテリー交換日)】

バッテリー使用開始日(交換日)を設定することにより、定期メンテナンス(バッテリー交換)を実施する時期を前もって予定することができます。項目を選択し、日付を入力してください。



[訳]

[UPS バッテリー交換日の確認]

1. UPS 使用開始日: 2009-03-14
2. バッテリー交換日: 2009-03-10
3. 前回のバッテリー交換日(書き込み不可): 2009-03-10
4. 次のバッテリー交換予定日(計画): 2009-03-10
0. 戻る

番号を選択してください ->